

犠牲の上にしか成り立たない原発はいらない 玄海原発 3・4 号機再稼働中止を求める

2018 年 6 月 11 日

(株)九州電力 代表取締役社長 瓜生道明 様

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／プルサーマルと佐賀県の100年を考える会
玄海原発反対からつ事務所／原発を考える鳥栖の会／今を生きる会／原発知っちょる会
風ふくおかの会／戦争と原発のない社会をめざす福岡市民の会／たんぽぽとりで
東区から玄海原発の廃炉を考える会／福岡で福島を考える会／あしたの命を考える会／怒髪天を衝く会

九州電力は、蒸気漏れ事故を起こした玄海原発 3 号機に続き、一次系冷却材ポンプ事故を起こした 4 号機を今月 16 日にも再稼働しようとしている。

事故が相次いだにもかかわらず、未来からの警告と受け止めず、住民の不安を無視し、“安全神話”の世界にいる九電に対して、私たちの不安と怒りは増大するばかりである。

原発がひとたび大事故を起せば、放射能により私たちの暮らしは足元からすべて奪われ、被ばくを一方的に強いられる。九州電力という一企業の起こす事故のために、私たちは被ばくしたくない。

原発は動かせば膨大な量の核のごみをまた増やすことになる。これ以上、未来の世代に押し付けるのは許されない。

いまなお収束せず、「原子力緊急事態宣言」発令中である東京電力福島第一原発事故の甚大な犠牲は計り知れない。玄海原発 3・4 号機の再稼働を中止し、原子力から撤退することを求める。

【 要請事項 】

玄海原発 3・4 号機再稼働を中止すること。

【 質問事項 】

(1) 4 号機一次冷却材ポンプ事故について

① 5 月 15 日付の九電報告書によれば、ラインを流れる水の温度が 25 度から 28 度にわずか 3 度上がったために体積が膨張し、シール部が壊れたという。そもそも欠陥品ではないか。ラインを流れる水温は何度から何度の間を変化するのか。

② 「再稼働にあたって万全を期すため」に満水状態にしたのに、それが異常の理由とされ、今後の対策として「満水保管」としないという。今まで、満水状態にしていたのは間違っていたということか。

③ 2016 年 7 月に伊方原発 3 号機でも一次冷却材ポンプで同じように水漏れ事故が起きたが、その原因と対策は検討したのか。その時は「満水」ではなかったのか。

④ 玄海 3 号機は同じ部品を使っているのに、なぜ点検も交換もせず、動かし続けているのか。

(2) 玄海原子力総合事務所について

九電は 7 月に 50 人体制で「玄海原子力総合事務所」を発足させる。使用済み燃料対策も含めた「コミ

コミュニケーション活動のコントロールタワー。対話を重ね、疑問や不安を取り除いてほしい」(5月29日瓜生社長記者会見)という。総合事務所の目的と具体的な活動内容を明らかにされたい。

川内原子力総合事務所の体制や活動内容を教えてほしい。

(3)核のごみについて

再稼働したら、核のごみが増える。使用済み燃料プールはあと何年でいっぱいになるのか。その後はどうするつもりか。

核のごみは何年管理しなければならないのか。その時まで九州電力は存在しているのか。その間のスケジュールを教えてほしい。

◆九電から未回答の事項

(1)3号機配管穴あき蒸気漏れ事故

①当該管の穴の部分の内側のファイバースコープ写真の公開

4月12日、九電は「撮っていると思う」と発言した後、「私らが現場に行く時にはおそらくそういう時は撮っていると思ってございますけれども、こればかりは私は現場にいないので分かりません。お知らせができるものがあればそれはお知らせさせていただく」と発言。

②蒸気漏れ時の「警報」が出される量の基準

「警報が出る量を示してほしい」と求めると、九電は「それは...出せるかどうかは確認が必要です」と発言。

③商業機密として「白抜き」にされた脱気器給水量の公開

4月2日付の九電資料では脱気器の仕様について給水量の欄が商業機密として白抜きされていた。ところが4月13日の佐賀県による専門家意見聴取会と同17日付九電報告書では給水量の欄自体がなくなっていた。なぜ情報を隠すのか。

④原子炉を止めないままの運転について

「制御棒を何本かだけ挿入した状態から、またフルパワーにもっていった経験が九電にあるのか」と質問したのに対して、九電は「確認しないと分からない。確認させていただく。別途あらためて」と発言。

(2)3月1日交渉時の未回答事項

⑤「破局的噴火は起こらない」とする根拠となる資料を示すこと

⑥ディーゼル発電機に火山灰対策として新たに取付けたフィルターの写真の公開

⑦使用済みMOX燃料は何年間敷地に置くのか。

⑧資機材置き場として造成中の12haの土地の目的について「重大事故時の資機材の受け入れ」というが、具体的には「まだ分かりません」というばかり。目的や詳細な計画を示すこと。

(3)「安全神話」リーフレット問題 (3月19日、佐賀支社に提出)

⑨安全神話リーフレットに関する質問